



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.45)

新所長就任挨拶と平成28年度東京事業所方針について



田中東京PCB処理事業所所長

平成28年4月1日付で東京PCB処理事業所の所長に就任いたしました 田中淳二と申します。

当事業所は、平成17年11月22日に操業開始して以来11年目の年を迎えました。

PCB廃棄物の処理完了に向けて、長期処理計画と長期保全計画に基づき、本社及び4事業所とも連携しながら安全確実な処理を進めてまいります。

平成28年度の東京事業所方針を以下に示します。

平成28年度 JESCO東京PCB処理事業所方針

1. **安全で信頼される操業体制**を維持する。
2. 処理施設の**安定操業**を確保し、**長期処理計画**を推進する。
3. **工程内処理残渣及び運転廃棄物の処理**を促進する。
4. 処理施設の**長期保全計画**に基づき、健全なる**設備の保全・更新**に努める。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成28年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	111台	3,109台
コンデンサ類	2,213台	42,496台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成28年3月14日、江東区東陽町にて第35回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成27年度下期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転時トラブルの状況、運転及び設備の対策・改善、安全衛生管理活動、教育・訓練等について報告しました。

運転時トラブルの状況については、平成27年11月にコンデンサGB排気系統で、また平成28年1月には除染室換気系統で、いずれもオンラインモニタリングのPCB濃度が自主管理目標値を超えた値を計測したことについて報告しました。どちらも測定点の後段にある活性炭槽出口での測定の結果、排気口出口のPCB濃度が基準値以下であり外部環境への影響はなかったこと、また、トラブルの原因と実施した再発防止対策についても報告しました。

議題2として、長期処理計画について、処理対象のPCB廃棄物、処理の進捗状況、今後の処理方針等を報告しました。

議題3として、長期保全計画の実施状況について、平成27年度の設備保全実施項目および、平成28年度の設備保全予定項目について報告しました。

議題4として、当事業所における取り組み意識等に関するアンケート結果を報告しました。

委員からは、イレギュラーなことが起きた場合の対応を決めておくことの重要性、今後の保全計画を確認する上からも委員が定期的に施設を視察する機会を設けてほしい、等の意見がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、さらに安全・確実な処理を目指してまいります。



環境安全委員会の様子

首都圏広域協議会の開催について

平成28年3月22日、東京都庁にて第20回「首都圏広域協議会」が開催されました。広域協議会は1都3県5政令市および6中核市で構成され、東京PCB廃棄物処理事業に係る広域調整に関して、安全の確保及び連絡調整を図ることを目的として開催されています。

会議では、最初に会長である東京都から、計画的処理完了期限の平成34年度末まで、あと約7年ということで、各自治体では、処理対象物の掘り起し、立入指導、保管・適正処理等の指導を進めているところですが、自治体間で情報交換をしながら、期限内処理を目指して着実に前に進んでいきたい、との話がありました。

環境省からは、PCB廃棄物処理特別措置法改正案が3月1日に閣議決定され、現在開会中の国会に提出されているところ、との話がありました。

当社からは、①平成27年度の処理実績、②平成28年度受け入れ予定量、③処理の進捗状況、④1都3県に係る重点搬入計画、⑤安定器等・汚染物の処理量等、⑥北九州PCB処理事業所における排気中ベンゼンの協定値超過事案に係る原因と再発防止策、および、東京エリアからのコンデンサの処理に関連する事項として⑦北九州PCB処理事業所における年度ごとの処理計画見通し、の報告を行いました。

出席自治体からは、今後のスケジュール等についての質問があり、PCBの処理推進に向けて、有意義な意見交換がなされました。

自主清掃について

毎月1回、自主清掃と称して、地域とのコミュニケーション活動の一環として、当社社員と運転会社社員合同で、当施設および隣接する公道の歩道に捨てられた、ごみ、ペットボトル、カン、ピン等を回収する清掃活動を行っております。

3月16日の清掃では、正門前の歩道と敷地の両側約200mの歩道の清掃を行いました。

今後とも、地域とのコミュニケーションを大切にして、地域の美化に少しでも貢献できますよう活動を続けてまいります。



自主清掃活動の様子

平成27年度の施設見学者数について

平成27年度は合計861人の方々に施設見学にお越しいただきました。見学者は、保管事業者の方、官公庁の方、学生の方、個人の方、海外からの方などさまざまでした。



見学の様子

また、東京都環境公社が開催している、東京臨海部のリサイクル施設をバスで巡る見学会（東京スーパーエコタウン見学会）に当施設も対象施設の一つとして参加しており、多くの方に見学していただきました。

平成27年度 見学者数

	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	1月～ 3月	合計
団体数	14団体	14団体	27団体	18団体	73団体
見学者数	137人	184人	316人	224人	861人

見学は火曜日と木曜日に実施しています。希望される場合は、下記の電話番号へご連絡ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023

<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.46)

PCB処理施設の定期点検を実施しました

平成28年度のPCB処理施設定期点検を5月16日から6月22日の間に実施しました。期間中はすべての設備を停止して様々な検査・点検を行うと共に、施設の安全と安定操業を維持するための改善工事を行いました。

◆ 定期点検の安全大会開催

定期点検を無事故・無災害で行うことを目指し、定期点検作業開始となる5月16日に安全大会を開催しました。

JESCO社員および運転会社、点検・整備にあたる工事請負会社などの関係者が集合して、JESCO所長による安全訓話、工事請負責任者による安全宣言などで、注意喚起と安全意識の高揚を図りました。



定期点検安全大会

平成28年度全国安全週間への取り組み

① 安全大会の開催

全国安全週間（7月1日～7日）を迎えて、7月1日にJESCO社員および運転会社社員による平成28年度安全大会を開催しました。

開催にあたって、JESCO所長により次のように社長メッセージが代読されました。まず、平成27年の労働災害による死亡者数は厚生労働省が統計を取り始めて以来初めて1,000人を下回ったことは画期的な成果である。一方で休業災害を含む労働災害の全体数は十分な減少傾向とは言えず、安全確保の重要性を再認識して全員で安全活動の推進と確実な実行に努めることが肝要である。以上の訓示後、大会の最後に全員で安全コールを唱和して、安全意識の高揚を図りました。



安全大会 安全コール

② 安全教育の実施

7月7日・8日の2日間、JESCO社員を対象にJESCO副所長および安全対策課長を講師に安全教育を実施しました。テーマは初日が「JESCOにおける過去のトラブル事例と教訓」2日目が「PCB特措法・ストックホルム条約・都区三者協定」について、トラブル時の早期対応の再確認と関係法令の理解、更に地域社会との共存共生について再認識する、有意義な機会になりました。



安全教育

③ 安全点検の実施

全国安全週間中の活動として以下の点検を行いました。

- ・7月2日（土）：家庭安全の日（家庭内の安全確認：自主活動）
- ・7月3日（日）：同上
- ・7月4日（月）：保護具安全の日（保護具の点検清掃：自主活動）
- ・7月5日（火）：設備安全の日（設備不備の点検：自主活動）
- ・7月6日（水）：職場環境整備の日（事務所、控室、倉庫の4S:自主活動）
- ・7月7日（木）：職場環境整備の日（現場担当エリアの4S:自主活動）

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成28年4月～6月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	4月～6月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	29台	3,138台
コンデンサ類	151台	42,647台

* 連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会を開催しました



東京事業部会

7月5日、平成28年度第1回東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学名誉教授）を開催しました。

部会では、まず、4月6日に発生した水熱分解系統排気トラブルの報告を行いました。これは、No.1水熱分解設備を立ち下げ中に、水熱分解系統排気PCB濃度（オンラインモニタリング値）が自主管理目標値0.01mg/m³を超える0.16mg/m³を計測したため、水熱分解設備が停止となったものです。測定点の後段にある活性炭槽出口での測定の結果、排気口出口のPCB濃度は基準値以下であり、外部環境への影響はありませんでした。トラブルの原因は水熱反応器に接続していた廃粉末活性炭スラリの供給配管閉塞であると判明しましたので、定期点検時にスラリ配管の撤去を行いました。

新たな配管については、この委員会において各委員からいただいたご意見を踏まえ十分な対策を講じたものとして、今後設置する予定としています。

なお、この他に当事業所の平成27年度処理状況、平成28年度の長期処理計画等の報告も行いました。

熱中症対策セミナーを開催しました

6月22日、JESCO社員および運転会社社員を対象に熱中症対策セミナーを開催しました。

熱中症対策は夏場の健康管理には欠かせないもので、社員の関心も高く、100名を超える参加を得ての開催となりました。セミナーでは、①熱中症の現状、②熱中症の予防に関して、③熱中症のメカニズムの疑似体験、など、体験を交えた講義を行い、熱中症に関する知識・予防策を習得し理解を深めました。



熱中症対策セミナー

第1四半期（4月 - 6月）施設見学状況

4月から6月までの間に、保管事業者、官公庁等、22団体合計185名の方々にお越しいただきました。

※見学を希望される場合は下記の連絡先までお問い合わせください。

	4月	5月	6月	合計
団体数	9団体	4団体	9団体	22団体
見学者数	32名	85名	68名	185名



処理施設紹介DVD上映



処理施設見学



情報公開ルーム

省エネルギー活動実施中

JESCOでは、環境保全活動の一環として、平成28年5月1日から9月30日の5ヶ月間、省エネルギー対策として、ノーネクタイ、ノー上着の励行や施設内の空調設備の適正管理をして消費エネルギーを抑えています。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>